

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「総合演習Ⅰ」で得られた成果を踏まえて、「遊び」を中心として、「保育」に必要な実践的な基盤形成をめざす。実技では前期に引き続き「遊び名人」をめざす。子どもとのかかわりでは「遊び」、保育者間ではチームワークとそれぞれの場面によって要求される実践力を身に付けることをねらいとする。保育施設では自分たちの考えた企画を実践し、自身の実践力を高める。なお、質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。各自、ディスカッションやグループワーク、保育実技や教材研究を通じて「保育」の理論・実践面についての理解を図る。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容、進め方について確認しつつ、自身の課題について考える	<input type="checkbox"/>
第2回	保育教材の作成①(手作り紙芝居)	保育教材として「手作り紙芝居」のアウトラインを考える	<input type="checkbox"/>
第3回	保育教材の作成②(手作り紙芝居)	保育教材として「手作り紙芝居」を作成する	<input type="checkbox"/>
第4回	保育教材の作成③(ペープサート)	保育教材として「ペープサート」のアウトラインを考える	<input type="checkbox"/>
第5回	保育教材の作成④(ペープサート)	保育教材として「ペープサート」を作成する	<input type="checkbox"/>
第6回	保育教材の発表①(手作り紙芝居)	作成した「手作り紙芝居」を発表し、相互に意見交換する	<input type="checkbox"/>
第7回	保育教材の発表②(ペープサート)	作成した「ペープサート」を発表し、相互に意見交換する	<input type="checkbox"/>
第8回	発表の振り返り	作成した保育教材の発表を振り返るとともに、自身の課題を発見する	<input type="checkbox"/>
第9回	保育施設における実践にむけての企画	作成した保育教材を保育施設で発表するための準備をする(指導計画案の作成やリハーサル、追加での遊び研究)	<input type="checkbox"/>
第10回	保育施設における活動①	作成した指導案をもとに保育教材を保育施設にて実践する	<input type="checkbox"/>
第11回	保育施設における活動②	作成した指導案をもとに保育教材を保育施設にて実践する	<input type="checkbox"/>
第12回	実践に基づく研究成果の考察	保育施設における活動を振り返る。	<input type="checkbox"/>
第13回	実践に基づく研究成果の作成	パワーポイントを用いての発表資料を作成する	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表の準備	発表に向けてのリハーサルや資料作成などの準備をする	<input type="checkbox"/>
第15回	研究成果の発表	成果発表するとともに、これまでの活動から得られら成果を確認する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習は、事前に論点を確認するとともに、文献やインターネット等で調べる。遊び教材に関する準備をする(2時間程度)。事後学習は授業内で実践したことを振り返りをしつつ、不足分について関連文献を読み込み、資料収集を行い、成果の定着を図る(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

指導案作成や各種課題については授業時間内に適宜、返却する。授業時間外の場合はオフィスアワー、もしくは教員が研究室に在席し、対応できる場合は随時対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	少人数での活動を通し、様々な授業で学んだ専門的知識・技能を応用的かつ実践的に活用することができる
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門的知識と学習経験を踏まえて、自らの課題を前向きにとらえ、自分の思いを自在に表現し、発信することができる
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自己研鑽する保育者となるために多様な人々の中で自己を理解し、実践を通じて主体的に学び、問題を解決することができる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
<p>受講態度・参加意欲・授業貢献(20%)、その他：課題の提出状況(80%) ・受講態度・参加意欲・授業貢献については、発言など積極性を中心に評価する・課題の提出状況については、期限・内容等から評価する。</p>				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		